

レジメン名

LEED

出典

造血細胞移植ガイドライン 移植前処置
(第2版)2020年5月

実施部署区分

☒ 入院
☐ 外来
☐ 処置

対象疾患

非ホジキンリンパ腫

☐ 進行・再発
☐ 補助療法(術前・術後)
☒ 造血幹細胞移植前処置
☐

投与減量の基準

エトポシド	CCr15~50mL/min: 75%に減量 CCr≤15mL/min: 50%に減量または中止 T-Bil=1.5~3.0mg/dLまたは、AST>120IU/Lの場合、50%に減量
アルケラン	eGFR<50mL/min/1.73m ² (HD含む)の場合、50%減量
エンドキサン	CCr<10mL/min、またはCAPD: 75%に減量 維持透析中: 50%に減量(透析後) T-Bil=3.1~5.0mg/dLまたは、AST>120IU/L and/or ALT>135IU/Lの場合、50%に減量

1クール期間

4日

総クール数

1

(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準

T-Bil	3.0mg/dLを超える	エトポシドの投与を回避
	5.0mg/dLを超える	エンドキサンの投与を回避
その他		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
メルファラン(アルケラン)	130mg/m ²	生食100mL	15分※1	d-1
エトポシド	500mg/m ²	5%糖液2L	8時間	d-4、d-3、d-2
シクロホスファミド(エンドキサン)	60mg/kg※2	生食500mL	3時間	d-4、d-3
デキサメタゾン	40mg/body	制吐剤に混注	15~30分	d-4、d-3、d-2、d-1
※1: 調製後、1.5時間以内に投与を終了すること。				
※2: ①標準体重、または、②実体重≤1.2×標準体重の時は実体重、実体重>1.2×標準体重の時は調整体重25を用いて投与量を調節する。				

* 薬剤部に申請書を提出してください。

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ホスト Medikation、 溶解液まで含む)
d-4、d-3、 ①グラニセトロン3mg+デキサート33mg(15~30min) ②エトポシド125mg/m ² +5%糖液500mL(2hr) ③エトポシド125mg/m ² +5%糖液500mL(2hr) ④エトポシド125mg/m ² +5%糖液500mL(2hr) ⑤エトポシド125mg/m ² +5%糖液500mL(2hr) ①' 生食50mL(ルート確保用) ②' エンドキサン60mg/kg+生食500mL(3hr) ③' 生食50mL(フラッシュ用) ⑥生食50mL(フラッシュ用) ⑦グラニセトロン3mg(15~30min) (①投与10~12時間後) ①' ~③' ウロミテキサン24mg/kg+生食100mL(30min) ×3回(エンドキサン投与時・4時間後・8時間後) ※エンドキサン投与終了後24時間は150mL/hr以上の尿量を保つように1日3L以上の輸液を行う。
d-2 ①グラニセトロン3mg+デキサート33mg(15~30min) ②エトポシド125mg/m ² +5%糖液500mL(2hr) ③エトポシド125mg/m ² +5%糖液500mL(2hr) ④エトポシド125mg/m ² +5%糖液500mL(2hr) ⑤エトポシド125mg/m ² +5%糖液500mL(2hr) ⑥生食50mL(フラッシュ用)
d-1 中心静脈より投与 ①グラニセトロン3mg or アロキシ0.75mg+デキサート33mg(15~30min) ②生食50mL(フラッシュ用) ③アルケラン130mg/m ² +生食100mL(15min) ④生食50mL(フラッシュ用) ※アルケラン投与前日から投与終了後24時間は、水分補給及び利尿剤の投与を行い十分な尿量を確保すること。補液量は2L/日以上、確保すべき尿量は100mL/h以上を目安とする。 ※クワイオセラビーを検討。
-d4~-d-1 内服 アプレピタントカプセル(125mg-80mg-80mg-80mg) 初日は化学療法1時間前、その後朝食後